

謹賀新年





年頭のご挨拶

公益社団法人 浦和法人会

会長 池田 一義

あけましておめでとうございます。
新しい年を迎え、会員の皆様におかれましては、新春の門出を健やかにお迎えになられたことと謹んでお慶び申し上げます。また、法人会の諸事業につきまして、日頃より一方ならぬご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2025年は、世界が米国トランプ大統領に翻弄された一年であつたように思われます。米国ファーストを掲げるトランプ政権は、前政権が歩んできた国際協調路線を保護主義的政策へと大幅に方向転換しました。特に関税政策では、日本も含め世界各国が相互関税や品目別関税において従来よりも高い関税率での合意を迫られました。移民問題や環境・エネルギー問題においても、従来とは大きく異なる方針が打ち出されており、今後も不確実性の高い経済・政治環境が続くものとみています。

一方、ウクライナ・中東情勢は、未だ緊迫した状況が続いているものの、米国の介入によって良い方向へと歩み始めたように思われます。宗教・歴史的対立は大変根の深い問題であり、完全な解決を見るのは容易ではありません。しかし、それぞれのリーダーには、自国民も含め多くの民間人が犠牲となっている悲しい事実を直視し、一日も早く戦争終結を英断していただきたいと切に願います。

翻って日本では、10月に自民党・高市総裁が首相に選出され、憲政史上初となる女性の総理大臣が誕生しました。若年層を中心に政権の支持率は非常に高く、就任直後には日経平均株価が5万円を超えるなど、新たな時代の到来を予感させる出来事が続いています。

また、国内経済は、所得環境の改善による個人消費の増加や、企業におけるデジタル関連の設備投資拡大などを背景に、内需主

導で緩やかな回復が続いています。また、昨年の春季労働交渉では1991年以来となる高水準の賃上げが実現するなど、賃上げのモメンタムは定着しつつあります。その一方、物価上昇を超える賃上げ、そして大企業と中小企業との格差は正は未だ途上であり、真に物価と賃金の好循環を実現するにはこれらの課題解決が欠かせません。新内閣には、中小企業の稼ぐ力と生産性の向上を通じて賃上げを促進する抜本的な経済対策に期待をしています。

このように近年、法人会会員の太宗を占める中小企業の経営環境は目まぐるしく変化しております。諸物価高騰や賃上げ、人手不足、そして事業承継など、経営者を悩ませる課題は山積しており、企業の舵取りは困難さを増しています。しかしながら、不確実性の高い時代において企業が持続的成長を遂げるには、外部環境変化や多様化する社会のニーズを的確に捉え、自身のビジネスを適合させていくことが重要です。

2026年の干支である午は、前向きなエネルギー・成功・繁栄のシンボルとして日本人に長く親しまれています。馬は本来、常に前進する動物であり、後ろを振り返らずに前へと進むその姿は、夢に向かって突き進むことの象徴でもあります。

私たち法人会は基本理念である「税のオピニオンリーダー」として、今まで以上に皆様のご意見やご要望をお聞きし、皆様の成長を力強く後押ししてまいります。同時に、会員の皆様にとつて魅力ある、そして地域にとつて存在感のある団体であり続けるべく、自己変革にも果敢に挑戦してまいります。

本年も法人会活動に引き続きご支援とご協力をお願い申し上げるとともに、会員の皆様のご健勝とご多幸、事業のご繁栄を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



副会長

鈴木 久雄



副会長

志村 宜洋



副会長

秋本 清一



副会長

山崎 政次



副会長

小谷野 堅太郎

(順不同)



年頭のご挨拶

浦和税務署

署長 遠山 秀治

令和8年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

公益社団法人浦和法人会の皆様におかれましては、健康やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は税務行政に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

浦和法人会におかれましては、税のオピニオンリーダーとして申告納税制度の維持・発展と税務行政の円滑な運営に大きな役割を果たしていただいております。また、租税教室への講師派遣、「税に関する絵はがきコンクール」の実施などを通じて租税教育の推進にも力を入れていただいております。

今後とも、地域社会に密着した魅力ある会運営により活力ある組織が築かれますことをご期待申し上げますとともに、皆様と連携・協調を図りながら法人会活動に協力して参りたいと考えております。

さて、国税当局では、税務行政のDXとして、「納税者の利便性向上」、「課税・徴収事務の効率化・高度化」、「事業者のデジタル化促進」に取り組み、税務を起点とした社会全体のデジタル化を一層推進していくこととしております。

浦和法人会の皆様におかれましては、引き続き、ご理解と

ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

まもなく令和7年分の所得税等確定申告の時期を迎えます。本年の確定申告会場は、例年会場となっていた「さいたまスーパーアリーナ」から「浦和税務署会議室」に変更となります。皆様にはご不便をお掛けすることとなりますが、この機会に是非、法人会会員の皆様そして各法人の従業員の皆様には、マイナンバー方式によるご自宅からのスマホ申告、e・Tax申告をご利用いただければと思います。

また、国税当局では、キャッシュレス納付の利用拡大に取り組んでおります。キャッシュレス納付につきましては、税務署や金融機関に赴くことなく自宅やオフィスで納付が可能となり、とりわけ毎月の源泉所得税など頻繁に納付手続を行う方に便利な手続きとなっております。なお、源泉所得税のキャッシュレス納付については、国税庁ホームページにも体験コーナーも設けております。まだご利用でない会員の皆様には、是非一度体験いただき、キャッシュレス納付のご検討をお願いいたします。

結びに当たり、新しい年が公益社団法人浦和法人会の皆様にとりまして、幸多き年となりますよう心から祈念いたします。新年のご挨拶とさせていただきます。



源泉所得税の納付はキャッシュレス納付で！

e-Tax ソフト（WEB 版）を利用すれば

「源泉所得税」の納付書の **作成** ➡ **送信** ➡ **納付** までをスマホ・PCから簡単な操作で行うことができます！



◆ 金融機関や税務署の窓口に出向く必要がありません！

◆ 納税額が「0円」の場合も e-Tax で簡単に提出（送信）できます！

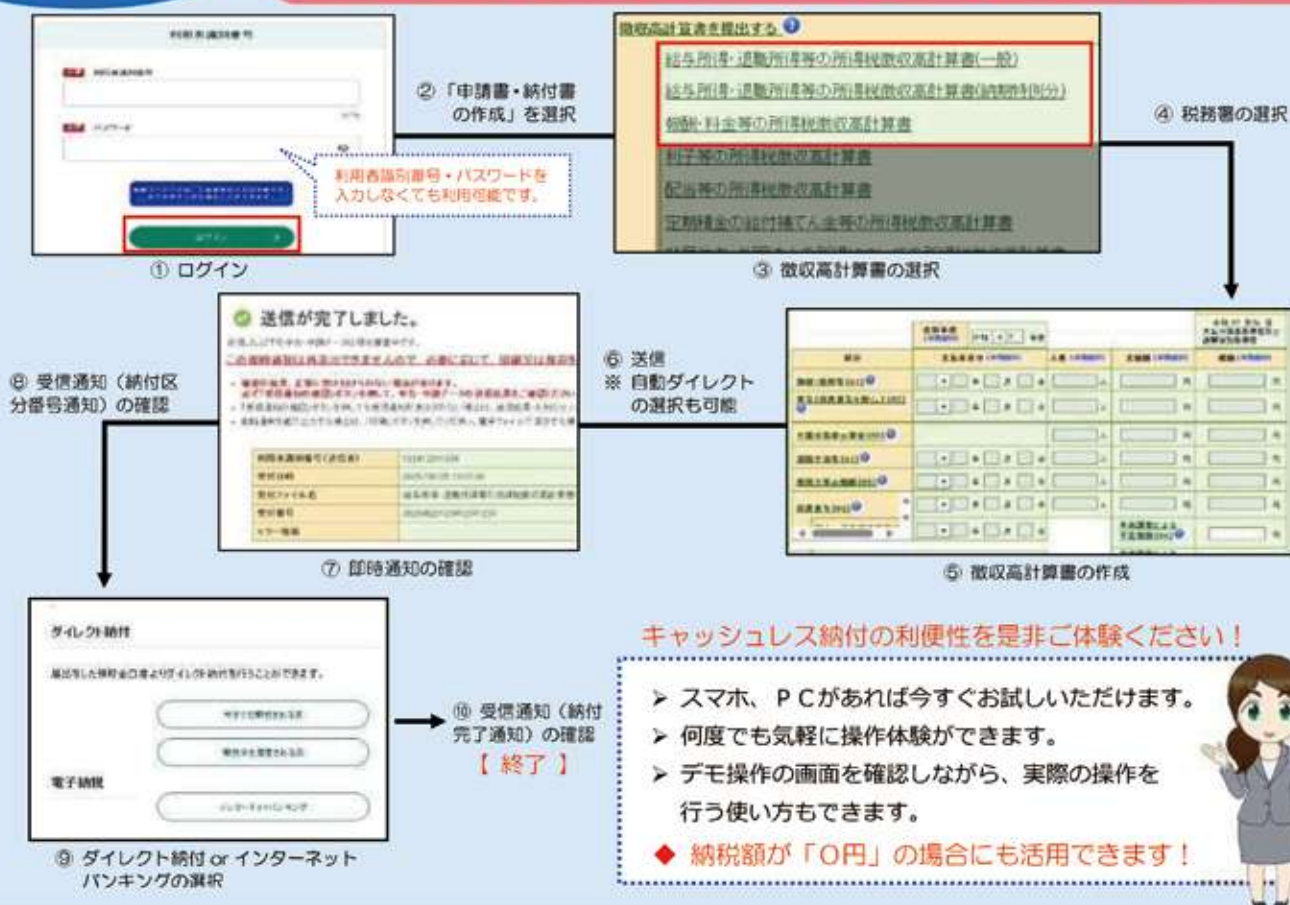
「源泉所得税のキャッシュレス納付体験コーナー」ができました！！

国税庁ホームページで、e-Tax ソフトと同様の画面操作を用いて、以下の流れを体験できるツールです。

- ① 所得税徴収高計算書（給与所得、退職所得、報酬・料金等）の作成・送信
- ② キャッシュレス納付（ダイレクト納付やインターネットバンキングなど）

一連の流れ

徴収高計算書の作成・送信とキャッシュレス納付を体験してみませんか？



詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。

「源泉所得税のキャッシュレス納付体験コーナー」はこちら
(<https://www.e-tax.nta.go.jp/taiken/gensencashless.htm>)



関東信越国税局・税務署

(令和7年7月)

丸い地球は6つの大陸と7つの海から成っているといわれます。グリーンランド島以上大きいものを大陸と呼びます。かつて中世アラビア人が7つの海と呼んだのは、ヨーロッパを中心にした海のことでした。それが15世紀半ばから200年間続いた大航海時代には、全世界に広がる7つの海になりました。そして現在は北大西洋、南大西洋、北太平洋、南太平洋、インド洋、北氷洋、南氷洋と5つの大洋なのですが、南北に分けて7つの海と呼んでいるのです。しかし、図に示すように海は全て繋がっており、ひとつの海なのです。One Planet, One Ocean、地球はひとつ、ひとつのかけがえない海です。

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関・UNESCO）には、政府間海洋学委員会（IOC）という海洋、沿岸、海洋資源管理に関する国際的な協力を推進する機関があり、152カ国が加盟しています。現在、道田豊博士が日本人初の議長を務めています。世界で海のない内陸国は44カ国あるのですが、そ



地球はひとつ、海もひとつ

埼玉県環境科学国際センター・総長
東京大学名誉教授
植松 光夫

な中でアフガニスタン、エチオピア、オーストリアやスイスなど8カ国も加わっています。河川を通して海に繋がっているからでしょう。我が国では埼玉県をはじめとして8県が海なし県です。海洋立国を目指す日本では、埼玉県が中心となり、海なし県同志、大いに海に関心を持ち、山、川、海を通じた環境、社会、経済に取り組むことを願っています。

地球の環境や社会は、これからどう変わっていくのでしょうか。今から125年前、1901年（明治34年）1月2、3日の報知新聞に「二十世紀の予言」という23項目に及ぶ記事が掲載されました。「無線電話で海外の友人と話ができる」、「機械で温度を調節した空気を送り出す」、「居ながらにして遠距離のカメラ写真が手に入る」、「7日間で世界一周ができる」、「馬車に代わって、自動車が普及する」、「葉巻型の列車が東京・神戸間を2時間半で走る」など、今では当たり前になっていることを夢みて、予言していたのです。しかし、「蚊、ノミ、シラミの滅亡」、「人と獣との会話自在」、そして「台風を1ヶ月以上前に予測して大砲で破壊できる」などは、いまだ実現していません。改めて自然環境と人の交わりは難しいものだと思います。

では、これから100年後、私たちの生かされている地球ではどんなことが実現されているのでしょうか。温暖化が進み、沿岸域の大都市は海面上昇で沈んでしまうのでしょうか。予想では気温が4℃以上上昇するといわれ、昼間は暑すぎて、人々は夜にしか出歩かなくなるかもしれません。気温変化の穏やかな海の上で暮らすのもひとつでしょう。温暖化だけではなく、日本では少子化が進み、日本人は日本においても少数民族になるのでしょうか。ひよつとすると第3次世界大戦が勃発し、核兵器での応酬で全人類が滅びている可能性もないとはいえません。100年後には、AIに導かれ、異なる言語は即時

通訳で意思疎通ができ、国籍など関係なく、地球人は月へ移住し、快適な生活を営んでいるのかもしれない。

地球46億年の歴史で、生物が地球上に誕生して5億年、今はそれ以来5回目の氷床や氷河がある気温の低い時代なのです。3億年前には石炭が、1億年前には石油や天然ガスが形成され、二酸化炭素濃度が急に低下したといわれています。恐竜は6600万年前に絶滅しました。人類もいつかは絶滅するのでしょうか。まずは次の100年間に起こらないことを願いつつ。

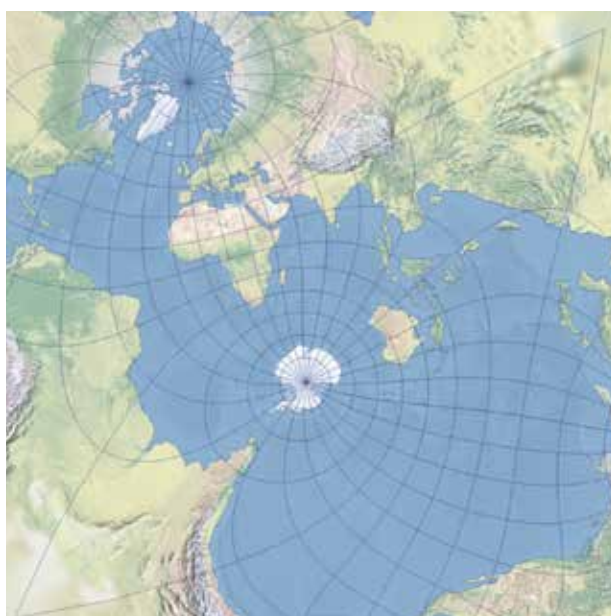


図 南極大陸を中心としたひとつの海（スピルハウス図法による）

<https://storymaps.arcgis.com/stories/756bcae18d304a1eac140f19f4d5cb3d>
The Spilhaus World Ocean Map in a Square



君が代誕生秘話 千代に八千代に

日本さざれ石の会会長代行

藤原 修身 さん

【ふじわら・おさみ】岐阜県の最西端に位置する揖斐郡揖斐川町在住。会長代行を務める日本さざれ石の会は1978年に設立された。国歌「君が代」の元になったとされる歌を詠んだ平安時代の歌人、藤原朝臣石位左衛門の子孫。



明けましておめでとうございます。
「ねえねえ岡村、お正月を規則正しく
過ごしていそうなステキな大人ってだ
れ?」。新年を迎えると、なぜ一斉に初詣
に行くようになったのか。チョコちゃんに
叱られそうだが、答えは「京急電鉄の戦
略だったからあ」らしい。

詳しいことは国宮放送にお任せすると
して、県内で三が日の参拝者数が最も多
いのは、さいたま市大宮区に社殿を構え
る武蔵一宮氷川神社。例年200万を超
える人々が訪れ、新しい年への願いを込
めて手を合わせる。全国ランキングでも
上位10位以内の常連だ。

さて、氷川神社を参拝の折に目を留め
てもらいたいものがある。それは「さざ
れ石」。国歌「君が代」にも詠われている
巖で、三の鳥居をくぐった左側に奉納さ
れている。国歌発祥の地といわれる岐阜
県揖斐川町春日地区(旧春日村)の山中
にあったものだ。

さざれ石は「細石」と書く。小石、つ
ぶての意。それらが集まり、雨水などで
溶解した石灰質がすき間に入り込んで接
着剤の役割を果たし、長い年月をかけて
大きな岩、巖になったもの。学名は石灰
質角礫岩。

「さざれ石の巖となりて」と国歌に詠
われ、転じて、巖そのものがさざれ石と
呼ばれるようになった。個々が集まり大
きな国となつてまとまり「君のむすまで」
繁栄する。私たちは、悠久の時がつくり
出したさざれ石の風情に国のあり方を重

ね、平和で豊かになるように祈りを込め
て歌い継いでいる。

君が代に詠われるさざれ石は、どんな
ものか。発祥の地には、さざれ石と天皇
家のつながりを示す伝承があるという。
現地を訪ね、「日本さざれ石の会」の藤原
修身会長代行に話を聞いた。

◇ ◇

岐阜県の大垣駅から車で「さざれ石公
園」を目指す。揖斐川から粕川に沿って
上流へ1時間ほど走る。修身さんとは揖
斐川町春日振興事務所まで待ち合わせた。
「遠くからよくおいでになった」。修身さ
んは、さざれ石に縁の深い春日小宮神地
区の区長・藤原政尚さんと迎えに出てく
れた。さざれ石公園はこの先、まだ車で
20分ほどかかる。

伊吹山の懐、春日谷。公園の駐車場か
らは山道を徒歩で行く。「あれもこれも、
さざれ石」と、修身さんが指さす。見る
と、山肌のあちこちに石灰質角礫岩が顔
を出している。揖斐川町は古くから銘石、
さざれ石の産地と聞いた。

でかい。鎮座するさざれ石に、弾んだ
息を思わず飲み込んだ。縦3m、横5.6
m、幅2.7m。重さ約50トン。『国歌に
よまれている さざれ石』(日本愛石館・
春日村観石会刊)の著者で、水石愛好家
の小林宗一氏が調査研究を行い1962
年に提唱した。77年3月に春日村天然記
念物(当時)、同年11月に岐阜県天然記念
物に指定された。

君が代の元となつたとされる歌が平安



この山道を登る。修身さんが杖を用意してくれた

時代の勅撰和歌集「古今和歌集」に収め
られている。「我が君は 千代に八千代
に さざれ石の いはとなりて 昔の
むすまで」(巻第七賀歌343)。読み人
知らずのこの歌を詠んだのは誰か。修身
さんが語る歴史はこうだ。

平安時代、文徳天皇の長子、惟喬親王
は「木地師の祖」とされる。親王の命を
受けたある人が、木地用の木材を求めて
近江から伊吹山を経て春日谷を訪れ、良
材を見つけて一族と移り住んだ。小宮神
地区には「君の畑」という地名が残って
いる。「親王にゆかりの深い近江の君ケ
畑にちなんだと伝わっている」。

この人が春日谷と近江、京都を行き来
する道中、さざれ石を見つけた。「これ
は珍しく、めだたい石」と感じ「我が君
は」と詠んだ。この歌が古今和歌集に



さざれ石は、石や岩が集まり大きな岩塊になったもの。国歌「君が代」は個々が集まり大きな国となった平和で豊かな未来を祈る



石位左衛門の墓所。集落の人の手で大切に守られている

採録され、「読み人知らず」だったこの人は、石位という官位を得た。歌人、藤原朝臣石位左衛門の誕生である。

修身さんも政尚さんも、その子孫だという。小宮神地区の藤原姓の一族が代々さざれ石を守ってきた。地域住民らでつくる「日本さざれ石の会」は、77年10月27日にさざれ石を昭和天皇へ献上したことから、その日を「さざれ石愛護の日」と定めた。今も、さざれ石を飾るしめ縄の張り替えや公園の清掃などを続けている。「しめ縄の材料になるマコモはみんなの手を付けて育てている」。

資料によれば、かつては男子元服の折に地域の長老から先祖の由来を申し渡す儀式があったという。「今は儀式こそないが、さざれ石は地域の宝。この土地に生まれた者は親の背中を見て、守り継ぐ責任を自然に自覚してきた」。

小宮神地区を案内してもらった。路地は狭くて険しいが、あちこちに湧き水が

さざれ石 平安時代から守る子孫一族

あつて今も暮らしに使われている。集落には石位左衛門の墓所があり、大切に守られている。粕川を見下ろすと、流れの緩やかなところ場が見える。「伐り出した木材を川で運んで集めたのだろう。水も豊かで、当時は暮らしやすかったんだろうが」と語尾を濁した。

集落は高齢化が進む。「空き家が目立つようになった」と区長の政尚さんもこぼす。今や会員の6割ほどが集落外に住んでいる。それでも「愛護の日」前後には内外から会員が集まる。平安の昔から受け継いできた情熱と愛着は、少しも衰えてはいないように感じる。

修身さんは「国歌に詠われるさざれ石を廃れさせるわけにはいかない。その存在を、ここが君が代発祥の地であることを、日本中の人に知ってほしい」と力を込める。穏やかな表情の奥に、さざれ石の守り人の覚悟を見た。日本さざれ石の会は2028年、設立50年を迎える。



春日小宮神地区。集落の下を粕川が流れ、とろ場が見える

事業承継と家族会議

埼玉県事業承継・引継ぎ支援センター 統括責任者 石川 峰生

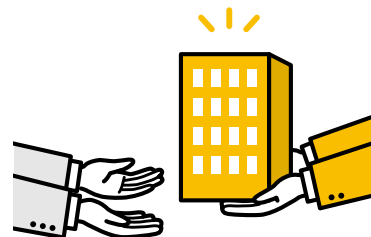
今回は、事業承継における家族会議の重要性について簡単に説明します。お正月に親族で顔を合わせる機会があると思います。事業承継に関する話し合いを持てはいかがでしょうか？

1 関係者の理解

円滑な事業承継を実現するためには、親族、役員、従業員、取引先、金融機関といった関係者の理解を得ながら行うことが重要です。特に、以下の場面では、家族の理解が重要になります。

①親族内に後継者候補が複数いる場合

社内に親族の後継者が複数いる場合、誰が後継者になるかについての意思疎通を図り、早期に決定することが望ましいとされています。また、家族会議は後継者にしたい人への意向の伝達、後継者候補の了解といった確認の意味や、他の親族の了解を得る場になりますので、家業を誰が引き継いで存続させていくかを決める重要な会議となります。



②第三者承継を考えている場合

社内に親族の後継者がおらず、親族外の役員・従業員に候補者がおらず第三者承継を考える場合においても、家族会議は重要になります。

現社長が創業者であったり、親族が代々経営に携わってきたようなケースにおいては、「うちの会社」「父や母の会社」といった意識が強いと思われます。他の会社で働いている場合でも、子供にとっては、今の自分があるのは、「父・母がこの会社で頑張ってくれたおかげ」と感謝の気持ちをもっていることが多く、その会社が親族以外や全く知らないよその経営者の手に渡ることには抵抗がある場合もあります。

親族外への承継について、家族会議を開いた際に、すんなり了解するケースもありますが、確認したことによって、他社で勤務していた息子・娘が後継者として名乗り出るといったケースも決して稀ではありません。

以上のような意味でも、今後の意思確認の場として、事業承継の方向性について家族会議を開くのは必須と考える必要があります。

2 家族会議ができない場合はどうしたら良いか？

上記で説明した形で会議ができ、合意形成ができれば理想ですが、現実には、なかなか場を持てないという相談がよくあります。特に親族承継においては、現経営者(親)と後継者(子)の親子の関係は一生変わることがないことから、親の一方的な考えを押し付けるようなことがあると子が反発したり、子から早期の承継を切り出したりすると、親が実権(株式)を持っていることから、聞き入れてもらえないというケースがよくあります。

心の中では、お互い親は子を頼りにしているし、子は親がこれまでやってきたことに敬意をもっていたとしても、正直に気持ちを表せないことが多いようです。

そこで、「親子の会話」を別の形に変える必要があります。「親子の会話」を会社の経営を渡す側と受け継ぐ側との「大人の会話」にする一つの方法に、専門家等の第三者を介在させることがあります。第三者が介在することで、家族としての感情的な会話になることを避けることもできますし、今後の事業承継に必要な事柄を整理することにも役立ちます。また専門家の助言をもとに家族会議を行うことで、関係者の理解が得やすくなることも考えられます。

3 会社の将来(方向性)は自分たちで決めるという意識が重要

端的に言えば、家族会議ができないということは、会社の方向性を決められないということです。このような状況で現経営者に万が一のことがあれば、会社の存続の危機が表面化する可能性があります。現経営者の方も後継者の方もその点を強く意識していただく必要があります。専門家を入れるにしても、最終的には、現経営者と後継者とで会社の方向性を決めるという意識が重要です。

4 終わりに

現経営者と後継者とが共通認識をもって事業承継を進めるためには、事業承継計画を作成することをお勧めします。商工会議所や商工会、事業承継・引継ぎ支援センター等に是非ご相談ください。

行動する法人会 ～税制改正要望陳情活動～

法人会では、公平で健全な税制の実現を目指して、会員企業のご意見や要望を反映しながら、税のあるべき姿や将来像を見据え、建設的な提言を行っています。

法人会の提言活動は、法人税の引き下げなどをはじめ、事業承継に関する税制の拡充など、中小企業の活性化に資する税制の構築に寄与しています。

浦和法人会では、清水勇人さいたま市長、伊藤仕さいたま市議会議員、田中良生衆議院議員、村井英樹衆議院議員、武正公一衆議院議員、古川俊治参議院議員、西田実仁参議院議員に陳情活動を行いました！

法人会は「令和8年度税制に関する提言」を決議しました。 令和8年度税制改正スローガン

- ◆ 社会保障に充てる消費税の減税は慎重な検討が必要 将来世代にツケを回さない仕組み作りを！
- ◆ 「金利のある世界」への回帰を踏まえ、金融市場の動揺を招かない財政運営を！
- ◆ 企業への過度な社会保険料負担を抑制し、中小企業の活性化に資する税制措置を！
- ◆ 本格的な事業承継税制を確立し、地域経済と雇用の担い手の中小企業を守れ！

※詳細は全法連ホームページをご覧ください。

地域のイベントに参加しています！

～各支部の地域社会貢献活動～



10/4 第23回南区ふるさとふれあいフェア



10/19 第23回緑区区民まつり



11/2 中山道浦和宿二七の市



11/1・2 中央区区民まつり

10/18 第23回桜区区民ふれあいまつりにも参加しました

今後の予定

「新春賀詞交歓会・公開講演会」

- 開催日：令和8年1月29日（木）15:30～
- 会場：ホテルプリランテ武蔵野
- テーマ：「伝わるコトバ 響くコトバ」
- 講師：三遊亭楽生氏（落語家）

「異業種交流会」

- 開催日：令和8年2月24日（火）16:30～
- 会場：ホテルプリランテ武蔵野
- ※お申し込み方法等、詳しくは同封のチラシもしくは浦和法人会 HP をご参照ください。

浦和、与野よもたず



26

耕す馬・競う馬・信仰の馬

秦野昌明

二〇二六年は丙午の年。かつて、丙午については科学的根拠のない迷信が語られてきた。古代中国では丙午・丁巳の年には天変地異が多いといわれていた。この伝承が日本に伝播し、江戸時代に入ると「丙午の年には火事が多い」と変化した（註1）。更に寛文二年（一六六二年）以降、迷信は「丙午生まれの男性、女性は配偶者を殺す」、「嫁取り、婿取りに丙午生まれの人を避ける」等へと変化する。この時期では男女の区別なしにいわれるない差別観をつくり出している。享保十一年（一七二六年）以降、丙午生まれの迷信の該当者は女性のみとなり近年まで続く。そのため、統計的には丙午生まれの出生率が減少傾向にあった（註2）。反面、丙午の迷信は全て科学的な根拠はなく、現在では迷信を信じる人は大いに減少している。二十一世紀の現代こそ、丙午生まれの見立を、馬に通じる「情熱とエネルギーにあふれる」、「正直で隠し事が無い」、「目標に向かい突き進む」、「自由を求め型にはまることを避ける」と考えてはいかがであろう。

さて、干支は十干と十二支を組合せた六十年を周期とする数詞で、古代の暦をはじめとして時間、方位、順次等に用いられた。十干は甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸の十種類からなり、十二支は子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥の十二種類からなる。「え」と呼ばれるのは「きのえ」、「きのと」、「ひのえ」、「ひのと」等と陰陽に応じて「え」と「と」の音が入ることに由来する。本来の十干十二支とは自然界のエネルギーの循環、生命の流れ、季節の変化等を表していて、十二支では覚えやすくする工夫として動物の姿で語られる。なお、十二支に動物を充てるようになるのは後漢（西暦二五年～二〇二年）の頃といわれる。

ところで、十干である「丙」は脚の張り出た台の象形に由来し、季節の変化では草木の成長が頂点を迎え次世代にバトンタッチの準備をする状態を表している。陰陽五行説（註3）では、「午」は陽の「火」を表し、太陽のような明るさ、情熱、強い意志等を象徴するとされる。一方、十二支の「午」は餅をつく杵の象形で、季節の変化では夏至を契機に陽道から陰道へ転換する状態を指す。また、時刻や方位を「干支」

で数えていたため、午前0時前後の二時間を「子の刻」とし、以降、二時間刻みで丑、寅、卯・・・と順に進む。そして昼の十二時が「午の刻」となる。そこで「正午」という言葉ができ、十二時を境に「午前」、「午後」と呼ばれた。方位も同様に、北が「子」、東が「卯」、南が「午」、西が「酉」で、北極と南極を結ぶ線を「子午線」と呼んでいる。干支は現代のくらしの中でも生きている。

「午」に関わる行事では「初午」が伝承されている。初午は旧暦二月の最初の午の日を指したが、現在では新暦二月に行われている稲荷社の祭りをいう。もともとは春先の農耕の神（稲生り）に豊作、商売繁盛、開運、家内安全等を祈願する祭りである。かつて、市域では初午の前晩を「ビジャコウ」（歩射）と呼び、年占の大的射りの年占や子どもたちが稲荷社等の前で「お籠もり」を行い、豊作祈願を行った。初午当日は赤飯を炊き、稲荷ずし、油揚げ・芋の煮しめ、鰯、けんちん汁等を神前に供えた。また、この日から習い事を始めるといふ風習も江戸時代から伝えられている。

一方、十二支で「午」に充てられた動物は「馬」である。かつて、馬は迅速な行動力、自分の力で前へ進む強い意志、人との関わりがうまい、束縛を嫌う自由さ等の象徴とされた。また、馬は労働の傍らに寄り添い力仕事を支え、戦に従軍し、かつ神と人の仲立ちの役目をも担っていた。

ところで、鉄道敷設以前の中山道には「荷駄」が往来し、農村には「耕作馬」多くいた。江戸時代後期の八隅蘆菴著『旅行用心集』の巻末に「木曾路六十九次駄賃付け」がある。そこには、上尾から大宮までは二里八丁。本馬（荷駄の積載量三十六貫目までは七十八文。軽尻（一人一人乗馬、手荷物五貫目まで）は五十二文。大宮から浦和までは一里十一丁。本馬は四十九文。軽尻は三十四文等の記載がある。明治初頭の『武蔵国郡村誌』では浦和地域で七百四十頭余、与野地域で五十頭余の馬がいる。現在、日常生活の中で馬を見かける場所としては浦和競馬場がある。歴史的な競馬では上賀茂神社の「くらべ馬」が知られているが、さいたま市北区宮原の賀茂神社本殿の「くらべ馬」彫刻は、「くらべ馬」が天下泰平、五穀豊穡を祈念し開催されていたようすが

生き生きと彫られている。

また、市内の地名には「駒場」、「駒形」、「大牧」等（註4）、律令時代の武士団を支えた軍馬育成に関わるとされる地名も多い。駒形神社の御神体は三体の白馬像で、「牧」に由来するといわれる。

さて、馬は長期にわたり農作業の大切な働き手であった。そのため道の辻等には馬供養の馬頭観音が造立されている。像容は庚申塔（青面金剛像）によく似ているが、頭上に馬を頂いている像が大半で青面金剛像と区別できよう。浦和区には十三基。中央区には十一基ある。市域では二百三十一基が知られている。市内の馬頭観音像の最古は寛文八年（一六六八年）銘で、南区南浦和の御蔵山観音堂にある。最新は昭和六十三年（一九八八年）銘で、桜区栄和の蓮乗寺観音堂にある。緑区三室の大古里にはおよそ一m五十cmの市域最大級の馬頭観音像がある。浦和区針ヶ谷二丁目、水道部前の馬頭観音は「聖戦二年」銘（註5）で、戦時下造立の馬頭観音碑である。また、緑区の大興寺には宿内の馬持ち衆が奉納した水盤がある。

その他、農耕儀礼に「祈雨祈晴」がある。『続日本紀』天平三年十二月の条に「神馬は河伯の精」とあり、馬を河神とし祈雨祈晴には馬が供献され、祈雨には黒馬、祈晴には白馬が用いられた。また、市域の「七夕」行事（註6）でもマコモで作った馬が用いられた。七夕様（作神）は、マコモ馬に乗り夏作物の成長を見回る。その後マコモ馬は屋根に投げ上げられたり、川に流された。このように、馬は農耕の水に関わる儀式に用いられた呪物であり、神の乗り物とされた。やがて、生きた馬から焼き物の土馬や板に描かれた「絵馬」となり、現代では絵馬の図柄は馬だけでなく、「目」、「脚」、「病氣平癒」、「合格祈願」等、奉納者の願事を託すものとなっている。

干支は現在の暮らしの中でも深く根付いている。良い兆しだけに耳を傾けよう。今年も皆様方のくらし、御仕事が無事快進いたしますことを祈念いたします。

（註1）「明暦大火」の原因とされる八百屋「お七」の話は、浄瑠璃作家により女性が丙午の生まれとされ不確かな事件が俗説へ変化した。しかし、明暦大火の出火場所は「お七」伝承とは全く関係がない。また、江戸大火には「明暦三年」（丁酉）の他、「明和九年」（壬辰）、「文化三年」（丙寅）等が知られるが丙午の年ではない。ちなみに「大宮宿大火」は安永四年（乙未）旧暦二月一日、「浦和町大火」は明治二十一年（戊子）三月十五日、「与野町大火」は享和二年十二月（壬戌）と文政二年二月（己卯）である。

（註2）明治三十九年（一九〇六年）の丙午の出生率は前年の約四％の減少。昭和四十一年（一九六六年）の丙午の出生率は前年の約二十五％の減少。

（註3）古代中国に起源をもつ考え。陰陽説は全ての現象事物を陰と陽の働きで解説す

る二元論。五行説は万物の根源を木・火・土・金・水の5元素に求め、それぞれの関わりで天地の変異、災祥、人事の吉凶を解説する自然・呪術的歴史観。

（註4）三室「馬場」（ばんば）地名は、地名学では湿地へ降りる傾斜地をさし、馬とはつながらない。一方、馬場（ばば）は馬の調教場で、北浦和2丁目には浦和代官由来の「馬場道通り」がある。

（註5）明治三十六年、「町田秀太郎」氏造立の塔を昭和十三年に「山口左助」氏が再建。

（註6）旧暦の「七夕」は現在の暦にあてると「八月」の行事。織姫伝説と手芸上達祈願の宮廷行事と仏教の盂蘭盆会等が習合したもの。



◆かつての耕作馬（見沼）



◆「くらべ馬」彫刻（北区 加茂神社本殿）



◆御蔵山観音堂（南区南浦和二丁目）



◆駒形神社（緑区中尾）の御神体



◆路傍の馬頭観音像（緑区三室大古里）

【筆者略歴】昭和27年、浦和市北浦和に生まれる。父は浦和、母は大宮、妻は与野で育ち、我が家庭ではさいたま市誕生以前より三市合併が成されていた。こども時代は駄菓子屋通いと紙芝居を楽しむに、古老に街道の昔話を聞き、母の郷里に泊まり見沼の自然に遊ぶ毎日。昭和50年より文化財保護、社会教育等の業務に奉職する。

社長さん、こんにちは

～地域に必要な存在を目指して～

関東自動車株式会社

代表取締役 宇野 三花（うの みか）さん

【プロフィール】

【会社】

創業：1964年（昭和39年）／所在地：さいたま市浦和区仲町

概要：特定旅客自動車運送事業、一般貸切旅客自動車運送事業、車輛運行管理請負業、旅行業など

【代表】

1971年（昭和46年）1月3日生まれ、54歳。さいたま市浦和区出身。高校、大学をアメリカで過ごした後、関東自動車株式会社に入社。営業や総務、社長室長などを経て、2014年（平成26年）10月1日、代表取締役社長に就任。趣味は孫と遊ぶこと。



▼「リブランディング」と「誠実」

1964年2月、自動車整備工場「共栄自動車工業」（旧浦和市大牧）として創業。その後はバス事業へと発展して、現在は私立学校や特別支援学校などのスクールバス、福祉施設利用者や一般企業の従業員送迎、プロスポーツチームの専属送迎など、さまざまなお客さまからご用命をいただいています。

入社当時は、旅行業の仕事を中心に営業で飛び回っていました。実際に現場に出て、添乗員としてお客さまとともに旅をした経験もあります。総務を経て、社長室長として先代社長を支えた後、2014年から会社のトップに就任しました。

創業60周年を機に、会社のリブランディングを図りました。「地域に必要とされる会社であり続けるには」という思いから、より強い社内体制を構築しようと実施しました。大切にしていく言葉は「誠実であれ」。お客さま、社員、地域に対して、素直かつ誠実に向き合い、働きたいと思える職場づくりを目指します。

▼「解雇はしません」宣言

社長に就任してもうすぐ10年になりますが、苦難の連続でした。特に影響が大きかったのが「コロナ禍」。社会活動が止まり、社員のモチベーションをどう維持していくのか。そこで社員を前にしてとった行動が、「解雇はしません」宣言でした。根拠はなかったですが、とにかく「大丈夫だから」と

伝え続けていました。負けず嫌いな私にとつての覚悟だったと思います。

感染拡大防止の観点から、普段は1台で運行しているバスを3台にするなど、お客さまのご要望に応え続けてきました。また特別支援学校を中心に学校は動いていたので、「あなたたちは必要とされている」と社員に言い続けて、この難局を乗り切りました。

社員がいなければ会社は存続しません。トップはどしりと構えつつも、柔軟に動かなくてはならない。周囲の方々の支えに感謝しながら、今日まで駆け抜けてきたと思います。

その経験があったからこそ、組織づくりにには特に重きを置いています。例えば、会議では全員が発言できるように空気づくりに努めています。オーナー企業だからこそ、社員自らが率先して働こうと思うような職場環境を、全員で作っていききたいです。

▼女性部会の新部長として

この度、女性部会の新部長に就任いたしました。20年ぶりの交代ということで、気持ち新たに頑張つてまいります。法人会の活動は、皆さまの善意で成り立っている部分もあります。まずは一人一人の思いをカタチにして、風通しの良い組織運営を目指していきます。

2026年4月には、「第20回法人会全国女性フォーラム埼玉大会」が、大宮ソニックシティで開催となります。全国から約1600人の会員をお招きする予定です。テーマは「彩の国

から輝く未来へ」女性が創る新時代」。準備に奔走している真っ最中ではありますが、埼玉から未来に向けて、さまざまな思いを発信できるようにまい進していきます。そしてお迎えをする私たちにしても、楽しく有意義な時間にしていきます。

▼税について一言

税金は国民の義務として支払うものという共通認識はあると思います。だからこそ地域や未来を担う子どもたちのために、将来に負の遺産となるような力たちではなく、有意義な使い方を考えてほしいと感じています。

会社経営を通じて、改めて税金の仕組みを学ばなければならぬと感じる場面が多々ありました。会員にとつて法人会が学びの場になったらうれしいです。



新入会員紹介

法人名	所在地	会員TEL	職 種
高橋 葉子	浦 和 区	090-7806-2547	講師業
株式会社 ロイヤルデベロップメント	浦 和 区	048-834-7515	不動産管理業
籌合同会社	浦 和 区	080-6563-4172	輸出代行業
椎葉 智司	緑 区	070-5540-4781	ホームページ制作・AI導入支援
4D-Stretch株式会社	緑 区	090-1864-0725	製造業
有限会社 雪山堂	緑 区	048-812-1341	額縁・表装・修復
合同会社 のん	緑 区	048-606-4868	福祉
フォレハス株式会社	緑 区	048-762-8241	ペットフードメーカー
株式会社 設備ヨコイ	南 区	048-863-9619	管工事業
黒崎 厚	中 央 区	090-4122-4283	内装工事
株式会社 First Light	中 央 区	080-4057-9157	宿泊業コンサルタント
株式会社 ディテールグラム	中 央 区	048-711-5354	卸売業
株式会社 エイチ・アイ・ティマーケティング	北 区	048-729-7752	卸売業
株式会社 関東住販	富士見市	090-6016-4530	不動産仲介業

講座開催報告

在職老齢年金のしくみ



- 開催日：令和7年9月10日(水)
- 会 場：さいたま商工会議所会館2階 ホール
- 講 師：日本年金機構 浦和年金事務所
お客様相談室 山岸 里江 氏

源泉所得税講座



- 開催日：令和7年11月19日(水)
- 会 場：さいたま商工会議所会館2階 ホール
- 講 師：浦和税務署 法人課税第一部門
上席国税調査官 大嶋 身江子 氏

新サービスがスタート！

法人会の「ビジネス・マッチング」

(アメリカン・エクスプレス提供)

チャットでつながる

イベントで出会える



新規開拓も人脈づくりもすべて無料！
詳しくはこちら



女性部会 活動報告

11月14日(金)の県民の日に合わせ、租税教育事業 親子タックスツアー「租税教室と国会議事堂・東京タワー」を開催しました。当日は、17組42名の親子が参加し、税の役割や仕組みについて楽しく学んだあと、国会議事堂・東京タワーを見学し、充実した一日となりました。

浦和法人会女性部会では、今後も租税教室を通じた地域貢献活動を積極的に実施していきます。

県民の日 租税教育事業 「租税教室と国会議事堂・東京タワー」



青年部会 活動報告

税務研修会

10月29日(水)税務研修会を開催いたしました。浦和税務署長遠山秀治様より「お酒(酒税)の豆知識」とのテーマで講話をいただき、懇親会では税務署と青年部会の交流の場として活発な意見交換がなされました。



女性部会・青年部会 部会員募集中

令和7年「税を考える週間」に合わせ、 11月11日～17日の期間

【浦和税務署管内・13駅】にポスターを掲示しました！



法人会は、税に関する活動で
企業や社会に貢献します！

令和7年度 納税表彰受彰者

浦和法人会から次の方々が受賞されました
おめでとうございます(順不同)

旭日双光章

元理事 北 清治 様

旭日双光章

前女性部会長 三富 タミエ 様

浦和税務署長表彰

理事 細渕 俊夫 様

浦和税務署管内納税協力団体協議会 会長感謝状 理事 早坂 直喜 様

2026年新年号 No.261 (令和8年1月1日発行)
発行所：公益社団法人 浦和法人会／編集発行人：広報委員会
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-17-15(さいたま商工会議所会館7階)
TEL 048-838-7755 FAX 048-838-7757
<https://hojinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/urawa/>

お花のことなら 株式会社 ソウケン

さいたま市緑区東浦和5-18-80

TEL:048-875-5540
FAX:048-875-5541

生活関連サービス業を目指します。

株式会社 しむら

さいたま市桜区下大久保732-1-105

電話048-854-9633 Fax048-854-9247

伊勢丹・コルソ・パルコ他特約

寿屋駐車場

(浦和駅西口旧中山道)

さいたま市浦和区高砂2-12-9

☎048(822)0886

寿屋駐車場

検索

心のこもったプレゼントを! ギフトのお店

愛をかたちに...



(有)秋本商店

tel 861-7330
fax 862-0010

さいたま市南区辻4-7-4

営業時間/AM10:00~PM6:00
定休日/水曜日

シヤディ

県税からのお知らせ

**給与支払報告書・源泉徴収票の提出は
「eLTAX (エルタックス)」で!!**

給与等の支払をする事業者の方は、受給者の方がお住まいの市区町村に支払報告書を提出するほか、記載内容がほぼ同一の源泉徴収票を事業者の方の所轄税務署にも提出する必要があります。「eLTAX (エルタックス)」を利用すれば、市区町村に提出する給与等の支払報告書の電子申告用のデータを作成する際、税務署に提出が必要な源泉徴収票の電子申告(e-Tax)用のデータも同時に作成し、一括して「eLTAX (エルタックス)」で一元的に送信することができます。

また、地方税共通納税システムを使えば、地方税の納税を地方公共団体や金融機関の窓口に出向くことなく、オフィスや自宅に居ながらにして、パソコンからインターネットを通じて簡単に行うことができます。すべての地方公共団体に対して電子納税ができ、複数の地方公共団体に対して一度の操作で電子納税が可能です。

ますます便利になったシステム「eLTAX」を是非ご利用ください。利用開始手続きなど詳しくは、eLTAX ホームページ (<https://www.eltax.lta.go.jp/>) をご覧ください。

お問合せ：県税務課 (TEL：048・830・2651)



有限会社 ワイズ

埼玉県さいたま市中央区上落合五丁目3番9号
Tel. 048-711-7748 Fax. 048-711-7764

表紙の言葉「春のブランコ」

新宿御苑にある園内唯一の枝垂れ梅です。その可憐で明るいピンクの花をつけた枝は、まるで妖精がブランコに乗っているように揺れていました。まだ春寒の残る冷たい空気の中、その姿を見ただけで心が春の陽気に包まれました。私の大好きな新宿御苑は、季節ごとに花や鳥、樹々の葉の色が変わり、いつも新たな発見と喜びがあります。ぜひ皆さまも四季折々の景色を探しにお出かけくださると嬉しいです。

場所 東京都新宿 新宿御苑

撮影・文 鈴木 望





大同生命大阪本社ビル(大阪市西区江戸堀)
～加島屋が店を構えた地に建つ～

大同生命は1902(明治35)年に創業しました。

中小企業経営者のもしものときの力になりたい。

創業者の一人である広岡浅子が生命保険事業に託した
「社会の救済」と「人々の生活の安定」という想いは、
いまでも大同生命に受け継がれています。

さあ、保険の新たな元へ。
T&D 保険グループ



広岡浅子(1849-1919)
～大同生命の創業者の一人～



大同生命の礎を築いた
大坂の豪商「加島屋」



旧肥後橋本社ビル
(設計:W・M・ヴォーリス)

その安心で、企業とともに未来をつくる。

DAIICHI 大同生命保険株式会社

埼玉支社/埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-333-13(大同生命さいたま大宮ビル4F) TEL 048-641-0307



Business Guard



AIG 損保

企業防衛・福利厚生目的に法人会のビジネスガードシリーズ 会員企業をサポートするAIG損保のリスクソリューション



政府労災の上乗せ補償
ハイパー任意労災(業務災害総合保険)

会社で入る医療補償
ハイパーメディカル(業務災害総合保険・メディカル特約)

初期のご相談から賠償金対応まで。労務・雇用トラブルに備える
スマートプロテクト(総合事業者保険)

地域社会に貢献する
ビジネスガードAUTO(法人会の自動車保険)

企業向け第三者賠償責任保険
オールスターズ(事業賠償・費用総合保険)

火災と地震災害に備える
プロパティガード+企業地震保険
(企業財産保険・
財物損害補償特約・
地震・火災保険補償特約)

個人情報の漏えい事故対策 マイナンバー対応
情報漏えいガード(個人情報漏洩保険)

役員個人を取り巻く各種訴訟リスクに備える
MRP保険(マネジメントリスクプロテクション保険)

海外進出企業向けサポートプラン
ワールドリスク
ワールドリスク

AIG損害保険株式会社

URL:<https://www.aig.co.jp/sonpo>

お問合せ先

〒330-0846 埼玉県さいたま市大宮区大門町3-54 AIG大宮ビル

TEL.048-641-4050 FAX.048-648-1129

午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

この広告は保険の概要をご説明したものです。「企業地震保険」につきましては建物の構造や建物が建築された時期および所在地等によってはお引き受けができない場合がありますのであらかじめご了承ください。2022年2月時点の内容です。(22-073003)

今年も法人会の
福利厚生制度の普及を通じ
会員企業の役員・従業員と
そのご家族の皆様
に
安心をお届けしてまいります
本年も何卒よろしく
お願い申し上げます
令和八年



謹賀新年

〈引受保険会社〉 **アフラック** 埼玉総合支社

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-9-6 大宮センタービル14F
TEL:048-645-0861

法人会用フリーダイヤル ☎ 0120-876-505

受付時間/9:00～17:00(土日祝日除く)